

普及活動情勢報告（令和7年12月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

もっと楽にナスを収穫しませんか？ ～赤野集出荷場女性部勉強会～



省力化技術を説明する
普及指導員

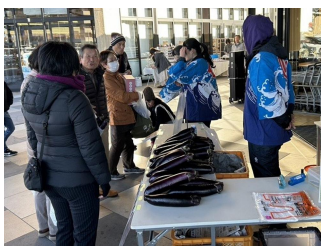
11月27日、JA高知県赤野集出荷場女性部が勉強会とハウス視察を開催し、生産者13人が参加しました。

農業改良普及課は、ナスの収穫作業を軽減できる方法として、下位側枝の摘除技術について説明しました。また、下位側枝の摘除技術の実践ほ場を視察し、生産者と目合わせしました。

生産者からは「枝はどこを切ったらえいが？」「下位はいい実がとれんき、切ってみる！」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、勉強会や視察などを通して女性部の活動を支援していきます。

「ぼたなす」はいかがですか～！ ～ぼたなす販促inとさのさと～



販促は大盛況

12月6日、日南・大平集落活動センター「ひなたぼっこ」が、JAファーマーズマーケット「とさのさと」で伝統野菜ぼたなすの販売促進活動を実施し、「ひなたぼっこ」の組合員と関係機関の計4人が参加しました。

室戸支所は、ぼたなすの由来や栽培に関すること、おすすめの食べ方などをお客さんに説明しました。

準備していたぼたなすは早々に完売し、参加した組合員からは「次回も開催したい！」と手応えを感じていました。お客さんの多くは、その大きさや、試食での美味しさ、室戸市にしかないナスがあることに驚いていました。

今後も室戸支所は、ぼたなすの生産振興を支援していきます。

もっと儲けるためには？ ～第6回農業基礎研修講座～



経営計画を説明する
普及指導員

12月10日、安芸農業振興センターで第6回農業基礎研修講座を開催し、管内の研修生や新規就農者、雇用就農者等9人が参加しました。なお、本講座は、今年度最後の開催となり、延べ74人が参加しました。

農業改良普及課の職員が講師を務め、農業経営について講義を行いました。参加者からは、「経営計画の重要性を感じた」、「MQ会計について知ることができて良かった」などの意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も新規就農者を対象に栽培や経営技術の向上、経営の安定化に向けて支援していきます。

冬場の温度管理はバッチリですか？ ～奈半利町園芸研究会～



説明を行う普及指導員

12月10日、奈半利町園芸研究会が現地検討会を開催し、ナス生産者や関係機関含め13人が参加しました。

農業改良普及課からは、SAWACHIで生産者ごとに直近の環境データの確認や、データ共有グループの閲覧方法等について説明しました。

参加者からは「この温度管理だと結露してしまうのではないか」「保温対策をもう少し強化する必要がある」など、温湿度管理について活発な意見交換が交わされました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、産地の収量向上に向けて支援していきます。

グループで栽培管理を検討 ～花きでのデータ駆動型農業の推進～



トルコギキョウハウスに環境測定装置を設置

12月2日、安芸市と芸西村のトルコギキョウ生産者5人のハウス計5か所に環境測定装置を設置しました。

農業改良普及課は、各生産者へデータ活用の方法等を説明し、複数戸でデータ共有が可能なグループ化を提案しました。

生産者からは「これからは実際のハウスの気温等を確認しながら栽培管理の相談ができるので、改善につながることを期待したい」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後、土壌水分センサーを設置し、土壌水分の見える化による品質向上も図ります。